

オンライン朝会「なりたい自分になる」2/13

あと1ヶ月と少して、学年が一つずつ上がり、6年生は中学校に進学します。うれしい気持ちと不安な気持ちがあると思います。そこで今日は、読書旬間にちなんで、幾つか本を紹介します。

とくに、中学進学を迎えた6年生向けですが、皆さんの参考になるかと思います。

まずは、不安な気持ちや悩みなど、共感できる本です。

- (1) 「なりたて中学生 初級編」 講談社 (2015/1/30)

隣の学区に引っ越したばかりの主人公。小学生が中学生になる誰もが経験するこの時期のドキドキを、3部作で描かれています。

- (2) 「人には言えない中学生の悩みごと」 実務教育出版 (2017/9/22)

中学生は色々と悩む時期です。やる気が起きない。仲間はずれ。学校がつまらない。勉強が嫌い。将来の夢がわからない。

- (3) 「部長会議はじまります」 朝日学生新聞社 (2019/2/28)

ある日、文化祭のために作ったジオラマが壊されるという事件が起きます。部長たちが問題に前向きに取り組んでいくストーリー。

次は、将来のお仕事の本です。

- (1) 「13歳のハローワーク」 幻冬舎 (2003/12/2)

自分の好きなことを職業として考えてみませんか？ 音楽、動物、料理など、いろいろな「好き」を入口に514種の職業を紹介。

- (2) 「10代のための仕事図鑑」 大泉書店 (2017/4/19)

どうしたらその仕事に就けるのか「〇〇になるまで」、その仕事の今後を示した「〇〇のこれから」など361種類の仕事を解説。

- (3) 「大人は知らない 今ない仕事図鑑 100」 講談社 (2020/8/11)

皆さんが大人になったとき、65%の人は、今は存在していない職業に就くと予想されています。自分のやりたいことと、これからの生き方や社会の変化を考えることができる一冊です。

校長室前に置いてありますので、3年後、5年後、10年後の未来の自分の姿を想像しながらページをめくってみてください。